



支援部だより

2018年
5月22日
支援部

今年度も「支援部だより」として、支援部から様々な情報を発信することになりました。



昨年度は「教材・本の紹介」をメインにしていたのですが、今年度は「自立活動アドバイザーQ&A」として、これまで寄せられた相談と、その時の助言を共有したいと思います。また、「教材の紹介」として、支援機器・グッズの紹介と指導例をあわせて紹介していきます。

① 自立活動アドバイザーQ&A (ST・OTの事例)

	<p>〈対象児：小学部〉</p> <ul style="list-style-type: none">・「サ行」が上手く話せず、「せんせい」が「てんてい」になる。・発音が明確になるにどうすればいいか。
	<p>〈ST・OT：高橋先生〉</p> <ul style="list-style-type: none">・サ行が全てタ行で発音されている。子音の「s」の呼気を抜くことが難しい。「s」を発音するとき、舌が口蓋について「ts」になっている。また口の周りにある口輪筋も弱い。・まずは耳で音の区別ができるようになること。「su」と「tsu」等を聞いて正しい発音を選択できるようになることをめざす。次に「ぱたか」と発音する等をして口輪筋を育て、発音のベースを作ること。そうすることで、発音指導につながる。ただし、発音指導は発達が4歳程度になってからであることに留意する。



② 支援機器・教材と事例の紹介

支援機器・グッズ	指導事例
 <p>『滑り止めシート』</p>	 <p>粘着力が強いシートで、姿勢が崩れやすい子どもの椅子に引いたり、給食のお盆の下に引いたりして、対象が安定するようにします。</p>